

ささやき声検査について

※ 3歳を過ぎたら中等度難聴を発見するために「ささやき声検査」をご家庭で実施しましょう。
裏面の絵カードを使用し、実施後に気になることがありましたらご相談ください。

聴覚検査の方法

(保護者が行う絵シートによるささやき声検査)

お子さんの名前 ()

検査の方法

- 1 絵を子どもの方向に向けて置き、1 m位離れ、向かい合って座ります。
- 2 「この絵の名前を言うから、お母（父）さんが言った絵を指さしてね。」と子どもに言って、普通の声（会話するときの声）で、絵シートの表示した絵の名前を言い、子どもが6個の絵をすべて正しく指させるようにします。
- 3 「今度は小さな声で絵の名前を言うから、よく聞いて、指さしてね。」と子どもに言って、口元を手などで隠し、6個の絵の名前をささやき声で1回ずつ言い、正しくさせれば下の表に○、正しくささなければ×を記入します。(問診票にも転記してください)

いぬ	くつ	かさ	ぞう	ねこ	いす

※検査の注意事項

絵の名前を言うのは1回だけです。聞き返されても、繰り返し言わないでください。また、ささやき声が大きくなるように注意してください。

※“ささやき声”の出し方

ささやき声は、息を出すだけの感じで、ないしょ話のようにささやきます。普通の声は、のど（のどぼとけ）に手をあてたとき、指に振動が感じられますが、ないしょ話のようにささやくと振動は感じません。この状態が“ささやき声”です。

